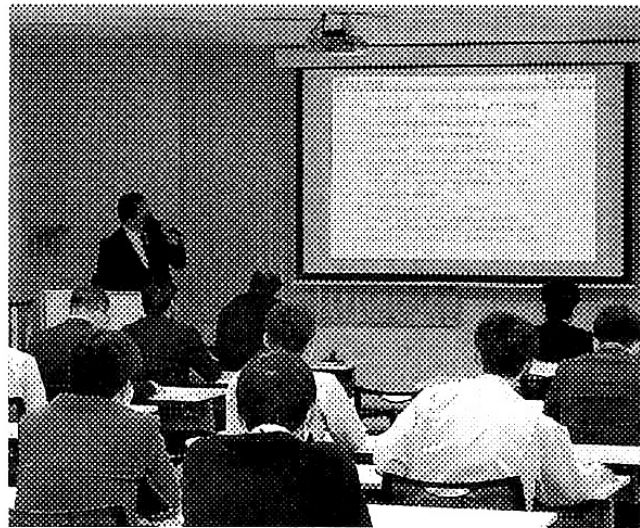


地理空間情報分野 の技術動向学ぶ

SPの会がセミナー

地理空間情報の専門家でつくるスペーシャリストの会九州支部(SPの会、鵜飼尚弘支部長)は9日、福岡市のリファレンス駅東ビルで日本測量協会九州支部との共催による2021年度「知っとーとセミナーin九州」を開いた。写真。会員約50人が参加し、地理空間情報分野の技術動向



などを学んだ。

主催者を代表してあいさつした鵜飼支部長は、SPの会の活動を説明し、「情報発信

や空間情報の技術者同士の関係を高める一環でセミナーを開いている。講演を聞いて皆さんの業務に生かしてほしい」と語った。

セミナーでは、村上克明国土地理院九州地方測量部次長が「UAV(無人航空機)を用いた公共測量における最新の動向」、国際航業の小野山裕治氏が「直轄国道における航空レーザ測量成果等のセンシングテーマ活用事例」をテーマにそれぞれ講演した。